

2021年度 事業報告(はじめに)

新型コロナウイルス感染症、終わりが見えない中、感染対策の徹底をしながら活動をつづけています。

今年度の感染者数は、社員9名、職員12名、ご家族42名でした。

かたるべ会の中で感染が広がることはありませんでしたが、家庭内で感染する人が沢山いました。

また、日々の活動では、販売活動、演劇活動、音楽活動、旅行や入社式などのイベントも対面での活動は自粛し、リモート販売、通信販売、YouTube配信、リモート入社式、オンライン職員研修、オンライン交流会、オンラインでのピープルファースト、オンライン旅行、ご葬儀リモートで行うなど、全てが新しい取組でした。

販売活動では、対面で行えないことによる売り上げの激減などの課題はありますが、反面、障がいの状況によっては長い時間販売活動に参加できない社員も、短時間でも移動することなく販売に参加できるメリットを発見することができました。また、ご葬儀に関しても、高齢で遠方の方でもオンラインで参列することができるというメリットがありました。また、職員の採用活動に関しても移動することなく説明会や面接を実施することができ、遠くは沖縄からも採用することができました。

グループホームでの生活に関しても、外出自粛のストレスをかかえる中、公園をウォーキング、すいている時間に買い物や外食を楽しむことができました。さらに、オンラインで買い物をしたり、グループホーム内でオンラインで音楽鑑賞や映画鑑賞を楽しむことができました。

コロナ禍で自粛しなければならないことが沢山ありましたが、オンラインでの取組という

あたらしいせいいかつようしき まなぶ
新しい生活様式を学ぶことができました。

あたらしいせいいかつようしき お つかって おも
オンラインという新しい生活様式は、コロナが終わっても、使っていきたいと思います。

2021ねんど じぎょうもくてき か いきいき じゅうじつ せいいかつ おく か
2021年度の事業目的は「コロナ禍でも、生き生きと、充実した生活を送ること」。コロナ禍
での生活のしづらさに加え、障がいがあるが故の生きづらさがあります。また、ご家族の方々
や職員に関しても、様々な生きづらさを抱えています。

しょう うまれそだったかんきょう にんげんかんけい さべつ ひんこん びょうき さまざま
障がい、生まれ育った環境、うまくいかない人間関係、差別、貧困、病気など、様々な
生きづらさを抱えています。そして、その生きづらさは簡単に解決できません。「辛い、つらい」
と感じながら生活している方がたくさんいます。

かたるべかいでは、社員、入居者、ご家族、職員の生きづらさを中心に話し合いや研修をし
てきました。

たとえば、障がいがあるがゆえのパニックを起こすと問題行動と言われ、本人やご家族に
厳しい目が向けられます。パニックを起こすのは本人が悪いのでしょうか？そのご家族が悪い
のでしょうか？パニック発作は障がいがあるが故の症状です。本人が悪いわけではありません。
一番つらいのは本人です。パニック発作もつらいですが、周りの厳しい目はそれ以上に辛い
出来事です。

「問題行動」と考えるのではなく「本人の表現」ととらえ、「本人が悪い」と考えるのではなく、
「一番つらいのは本人である」と考えることが大切です。そして、本人の辛さを理解しようとす
ることが最も重要です。

本人の辛さを理解しようとする中で信頼関係が生まれ、信頼関係が傷ついた心をいやし
てくれるのだと思います。

今後、^{しんがた}新型コロナウイルスは^{かんたん}簡単に^{しゅうそく}収束しません。「^{かんせんよぼう}感染予防の^{てつてい}徹底」そして「^{あたらしいせいかつようしき}新しい生活様式」

と「^{あたらしいかつどうようしき}新しい活動様式」を^{もさく}模索すること。そして、^{なにより}何よりも、^{ひと}人の^{つらさ}辛さを^{りかい}理解しようとする^{こころ}心と

^{しんらいかんけい}信頼関係の^{もてる}持てる^{しゃかい}社会を^{きずいて}築いていくことに^{ちから}力を入れます。

^{こんご}今後^{ひきつづき}も引き続き^{きょうぞん}コロナと共存しながら、^{もさく}模索しつづけていきたいと思います。

^{にっちゅうかつどうしせつ}【日中活動施設 ^{じょうきょうほうこく}GH状況報告】^{べっし}別紙—1

・2021年度 ^{ねんど}日中活動施設は4月に^{がつ}新 ^{しんにゅうしゃいん}入社員4名を^{めい}向かえ、^む第1か^{だい}たる^{しゃ}ベ社が^{めい}15名、^{だい}第2か

^{しゃ}たる^{しゃ}ベ社が^{めい}35名、^{だい}第3か^{しゃ}たる^{しゃ}ベ社が^{めい}16名、^{めい}ジャスミンが^{めい}25名 ^{めい}うれしのが^{めい}43名 ^{めい}合計^{ごうけい}13

^{めい}4名で^{ほうかごとう}スタートしました。^{めい}うれしの^{ねんどない}放課後等^{めい}デイサービスは^{めい}14名で^{ねんどない}スタートしました。年度内

に^{しんき}新規で^{つうしょ}通所された^{かた}方が^{めい}1名 ^{しゅうろう}就労された^{かた}方が^{めい}戻ってきたのが^{めい}2名 ^{たいしょ}退所された^{かた}方が^{めい}1名お

^{めい}りました ^{めい}また^{しよぞく}所属は^{びょうきとう}されていますが、^{つうしょ}病気等で^{かた}通所できない^{めい}方が^{めい}3名お

^{がつまつ}3月末の^{じてん}時点で^{だい}第1か^{しゃ}たる^{しゃ}ベ社が^{めい}16名、^{だい}第2か^{しゃ}たる^{しゃ}ベ社が^{めい}35名、^{だい}第3か^{しゃ}たる^{しゃ}ベ社が^{めい}16名、

^{めい}ジャスミン^{めい}26名、^{めい}うれしのが^{めい}43名の^{ざいせき}在籍となつて^{ごうけい}合計で^{めい}136名の^{めい}社員になります。

・^{がつ}グループホームは4月の^{じてん}時点で^{めい}ハイツマモルエリアが^{めい}38名 ^{めい}セルフイッシュエリアが^{めい}38名

^{めい}ジャスパーエリアが^{めい}17名で^{ねんどない}スタートしました ^{ひとりぐ}年度内に^{はじ}一人暮らしを^{かた}始めた^{めい}方が^{めい}3名お

^{たいきよ}りす。^{かた}退去された^{めい}方が^{めい}1名で、^{しんき}新規で^{にゅうきよ}入居された^{かた}方が^{めい}3名いました

また^{がつ}3月には^{だい}第2^{いてん}グリーンハイツが^{かいしょ}移転を^{ていいん}しまして、^ふルークスとして^ふ開所し、^ふ定員も^ふ増やして

^ふおります

^{にっちゅうかつどううりあげほうこく}【日中活動売上報告】^{べっし}別紙—2

^{うりあげ}売上にかんして ^{ねんど}2021年度 と ^{ねんど}2020年度と^{ひかく}比較して

売上粗利で比較しました

2021年度(19,873千円) 2020年度(17,593千円)

→2020年度に比べて2021年度は約220万円粗利が上がりました

→年間前年度比で113%と前年を上回った。

○売上が上がった主な活動

・販売・ランチ関係の売上が約194万円あがった。

→コロナ禍の中でも販売できる活動を摸索し売上が上がる活動ができた。

→ランチの売上が大きく貢献していた。

・清掃関係の売上が約80万円あがった。

→事業所内の密を避けるために外の作業を獲得し年間を通して活動した。

○売上が下がった主な活動

受注作業は約70万円さがった。

→コロナ禍の中で取引先が減少、作業量が減少した影響で全体的に売上が減少した。

→売上の半分以上が1社になるなど取引先が偏っている。

※全体として

年間前年度比で113%となり、月毎でみると8か月で前年度を上回った。

5月は2020年では緊急事態宣言下で活動を自粛する中 2021年の5月は305%

アップとなったものの、全体的には微増となった。

2021年度 第1かたるべ社 事業報告

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

(1)「密集」「密接」「密閉」を避ける

・作業室のレイアウトを向き合わないようにする。

・帰宅時、密にならないように時間差で帰る。

⇒レイアウト等、密にならない対策を継続して実施。

(2)マスクの着用を徹底、換気

・昼食時にマスクを廃棄し、午後は新しいマスクを着用。

⇒対角線になるように換気、換気扇の設置(1階と1階の男性用トイレ)

⇒二酸化炭素測定器を購入

(3)手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒

・社員、職員、玄関口の手指消毒徹底。

(4)検温など、健康管理の徹底

・午前、午後、15時、1日3回の検温。

・在宅勤務時の健康確認。

⇒リーバー(アプリ)登録による検温確認

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1)感染予防に配慮し、ZOOMなどで面談を実施

げんざい でんわめんだん かた こんご ずー むとう けんとう
・現在、電話面談の方は今後、Zoom等のオンラインを検討。

こべつしえんめんだん いきづらさ かべ あき
(2)個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

ほんにん ごかぞく かんけいしゃ ふかくはなし きくきかい
・本人、ご家族、関係者から深く話を聞く機会をつくっていく。

こべつしえんけいかく い かべ たいする きょうか
(3)個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

せいげん なか じ こじつげん かんきょう かんがえ しえん おこなって
・制限された中でも、自己実現ができるような環境を考え、支援を行っていく。

こべつしえんかいぎ こべつしえんめんだん ふかめる
(4)個別支援会議、個別支援面談を深める

じ こじつげん むけて くりかえしいけんこうかん かんがえ ふかめ じっせん
・自己実現に向けて、繰り返し意見交換をし、考えを深め、実践していく。

ちがい みとめあい そうごりかい ふか あ なか あたら せいかつ みらい きりひらく
(5)違いを認め合い、相互理解を深め合う中で、「新しい生活と未来」を切り開く

ひとり ちがい みとめあい おたがい りかい かんけい きづ
・一人ひとりが違いを認め合い、お互いに理解する関係を築っていく。

たいめん めんだん むずかしかった ずー むとう かつよう めんだん じっし
⇒対面での面談が難しかったため、Zoom等を活用したオンライン面談を実施

ひとり ごかぞく めんだん じっし しんらいかんけい ふか
一人ひとりのご家族と面談を実施し、信頼関係・コミュニケーションを深めた

じゆう ごかぞく はじめてきくくないよう はなし おお
テーマを自由にすることで、ご家族から初めて聞く内容の話も多くあった

にゆうきよきぼうしゃ めんだん ふくすうかいめんだん じっし
グループホーム入居希望者には、グループホーム面談など複数回面談を実施した

3、充実した社会生活に向けた取り組み

じゅちゆう じゅたくさぎょう
・受注、受託作業

きぎょう じゅちゆう けいさぎょう はり こんぼう ふうにゆうさぎょうとう
企業から受注する軽作業。(シール貼り、梱包、封入作業等)

ぎょうせい じゅたく こうえん ほどうせいそう あさひく みどりく あおぼく
行政から受託する公園や歩道清掃。(旭区、緑区、青葉区)

かもいじちかい かいらん さぎょう
鴨居自治会の回覧セッティング作業。

しんきとりひきさき けん あたらしいしごと とりくんだ
⇒新規取引先が3件あり、新しい仕事に取り組んだ

⇒ **小学校のプール清掃、ポスティング作業等に取り組んだ**

・自主製品作り 販売活動 ※社会状況に応じて活動を検討していく

アロマ用品、キーホルダー、アクセサリ等の製作。

大日本プロレスとのコラボ商品。

⇒ **大日本プロレスとの活動は感染対策のため、自粛中**

⇒ **感染状況を見ながら、感染対策をしながら事業所の前で販売活動を実施**

SNS(Twitter、Instagram等)を使用した、広報活動。

⇒ **日々の活動や新商品開発等、SNSを使い情報発信をした**

一人ひとりの特徴にも注目し、YouTubeでの発信もした

・就労支援、職域開拓 ※社会状況に応じて、活動を検討していく

ボランティア活動、企業見学、実習、企業への応募等に取り組む。

職域開拓を意識した活動。(演劇や絵画、イラスト)

演劇活動は第2かたるベ社と連携し、NPO法人スローレーベルの活動にも関わる。

定年を迎えた方に対して、活動内容を仕事に限らずに考えていく。

⇒ **実習やボランティア活動・演劇活動は感染対策のため、自粛中**

⇒ **大学の講演活動はオンラインで実施した**

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

・町内会、取引先、関係機関との信頼関係(相互理解)を深める

地域清掃を行い、地域の方と顔の見える関係を深めていく。

ちょうないかい じちかいかつどう まつ どう しゃかいじょうきょう おう さんか けんどう
町内会の自治会活動(お祭り等)は、社会状況に応じて、参加を検討していく。

ちょうないかい ちゅうし つづいて かいらん しごと とおして かがわり けいぞくちゅう
⇒町内会のイベントは中止が続いているが、回覧の仕事を通して、関りは継続中

しよくいん おこ しょぞく ちいき じちかい こどもかい ようちえん ほごしゃかい しごと
・職員のお子さんが所属する地域の自治会、子供会、幼稚園の保護者会、PTAなど、仕事にも

かかわるきんりん がっこうどう ていきてき れんらく とつて じょうきょう つたえて
関わる近隣の学校等には定期的に連絡を取って、状況を伝えていく。

ほか しゃかいじょうきょう おうじて かつどう さんか けんどう
その他、社会状況に応じて、活動への参加は検討していく。

5、健康に関する取り組み

けんこう いしき しょくじ ていあん おこなう とも けんこういじ しえん
健康を意識した食事の提案を行うと共に、健康維持できるよう支援していく。

ちいきせいそう どう けんこうかつどう ひび と い
地域清掃やウォーキング等の健康活動を日々、取り入れていく。

つかって すうち みる けんこういしき おこなって
ウォーキングアプリなどを使って、数値で見る健康意識を行っていく。

しゃいんここ おう ころろ あんてい けんこう かん いしき かたち こべつ と い
社員個々に応じた心の安定や、健康に関する意識の形を個別に取り入れていく。

けんこうかつどう いしき ちかく かわら えきまえせいそう じっし
⇒健康活動を意識し、近くの河原をウォーキング・駅前清掃を実施

2021年度 第2かたるべ社事業報告

かつどうないよう 【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

じかん き けんおん いんすい てあらい いしき たいおう
○時間を決め、マスク・検温・飲水・手洗いなどを意識して対応した。

たいおんかんり にさんかたんそそくていき りよう かんきたいさく
○アプリによる体温管理・二酸化炭素測定器を利用した換気対策。

そとかつどう せっきょくてき と く じぎょうしよない みつ ぼうし いしき
○外活動に積極的に取り組み事業所内の密の防止を意識した。

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

こべつしえんめんだん とおし ほんにん ごかぞく い など はなし
○個別支援面談やモニタリングなどを通し、本人やご家族の生きづらさ等について話を

する^{きかい}機会を^{おお}多く^も持った

3、充^{じゅうじつ}実した^{しゃかいせいかつ}社会生活^{むけたとりくみ}に向けた^む取り組み

○ 横^{よこ}浜^{はま}市^し立^{りつ}山^{やま}内^{うち}小^{しょう}学^{がっこう}校^{けい}への^{けい}軽^ぎ作^{さく}業^{ぎょう}ス^たタ^ふフ^は派^は遣^{けん}事^じ業^{ぎょう} ⇒ 83回^{かい}

(エ^{せい}ア^そン^うフ^いル^たー^{せい}清^{せい}掃^{そう}・^ゆカ^そう^じ床^{じょう}掃^{そう}除^{じょ}・)

○ 横^{よこ}浜^{はま}市^し箕^み輪^{りん}小^{しょう}学^{がっこう}校^{けい} 軽^{けい}作^{さく}業^{ぎょう} ⇒ 7回^{かい}

(^{じょ}ソ^うウ^さギ^{ぎょう}除^{じょ}草^{そう}作^{さく}業^{ぎょう}・^しジ^いパ^ソコ^ン資^し材^{ざい}の^{はい}廃^{はい}棄^き処^{しょ}理^り)

○ 7月^{がつ} 新^{しん}規^き作^{さく}業^{ぎょう}で^さポ^ステ^いン^ぎ作^{さく}業^{ぎょう}を^おこ^なつ^たた。

○ 2月^{がつ} 新^{しん}規^きで^さ「^ぱど^ど」の^さポ^ステ^いン^ぎ作^{さく}業^{ぎょう}を^おこ^なつ^たた。

(^{しん}き^さぎ^{ぎょう}新^{しん}規^き作^{さく}業^{ぎょう} ^うち^あわ^せ打^{うち}合^あわ^せせ)

4月^{がつ} (横^{よこ}浜^{はま}市^し立^{りつ}箕^み輪^{りん}小^{しょう})

6月^{がつ} (株^{かぶ}式^{しき}会^{かい}社^{しゃ}浅^あ見^み珠^{しゆ}算^{ざん}塾^{じゅく}) (神^{かな}奈^な川^{がわ}県^{けん}中^{ちゅう}小^{しょう}企^き業^{ぎょう}団^{だん}体^{たい}中^{ちゅう}央^{おう}会^{かい})

7月^{がつ} (横^{よこ}浜^{はま}市^し立^{りつ}荏^{えん}田^だ西^し小^{しょう}) (共^{きょう}立^{りつ}理^り化^か学^{がく}研^{けん}究^{きゅう}所^{しよ})

12月^{がつ} (十^と日^{にち}市^し場^ば中^{ちゅう}学^{がっこう}校^{けい}) (横^{よこ}浜^{はま}市^し立^{りつ}荏^{えん}田^だ西^し小^{しょう})

1月^{がつ} (サ^さク^くセ^せス^すホ^ほル^るダ^だー) (創^{そう}伸^{しん}工^{こう}業^{ぎょう})

(^{せい}ソ^う清^{せい}掃^{そう})

○ み^みな^なと^とみ^みら^らい^い清^{せい}掃^{そう} ⇒ 25回^{かい} (歩^ほ道^{どう}清^{せい}掃^{そう})

○ 緑^{みど}区^{りく}清^{せい}掃^{そう} ⇒ 24回^{かい} (公^{こう}園^{えん}清^{せい}掃^{そう})

○ 旭^{あさ}区^{ひく}清^{せい}掃^{そう} ⇒ 37回^{かい} (公^{こう}園^{えん}清^{せい}掃^{そう})

○ 河^か川^{せん}事^じ業^{ぎょう}用^{よう}地^ち除^{じょ}草^{そう}業^{ぎょう}務^む委^ゐ託^{たく} ⇒ 13回^{かい}

○(株)サンケイエンジニアリング^{せいそうさぎょう}清掃作業 ⇒ 7回^{かい} (敷地内除草作業)

○プール^{せいそうぎょうむ}清掃業務

(茅ヶ崎小学校)^{ちがさきしょうがっこう}5/17・18・20・21

(都田西小学校)^{つだにししょうがっこう}5/24・25・27・28

(都田小学校)^{つだしょうがっこう}6/1・2・3・4

○市が尾町^{いち おちようほどうせいそう ろせん}歩道清掃(B路線) ⇒ 51回^{かい}

○市が尾町^{いち おまちゅうへんち くほどうせいそう ろせん}周辺地区歩道清掃(C路線) ⇒ 23回^{かい}

○東本郷^{ひがしほんごう}ヶヤキ通り歩道清掃 ⇒ 7回^{かい}

○建設課(北部方面)^{けんせつか ほくぶほうめん}除草業務委託 ⇒ (港北区篠原)^{こうほくくしのはら} 6回^{かい} (緑区青砥)^{みどりくあおと} 6回^{かい}

○十日市場^{とおかいちばちゅうがっこう}中学校教室等エアコンフィルター^{せいそうぎょうむいたく}清掃業務委託 ⇒ 2回^{かい}

○荏田西^{えだにししょうがっこう}小学校窓清掃及び点検 ⇒ 5回^{かい}

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

○講演活動^{こうえんかつどう}

7月1日^{がつ にち} 関東学院大学^{かんとうがくいんだいがく}

7月5日^{がつ にち} 國學院大學^{こくがくいんだいがく}

10月26日^{がつ にち} 國學院大學^{こくがくいんだいがく}

12月22日^{がつ にち} 山内小学校^{やまうちしょうがっこう}

3月8日^{がつ にち} 山内小学校^{やまうちしょうがっこう}

○地域^{ちいき}にあるプロレス団体(大日本プロレス)^{だにたい だいにほん}と合同の活動^{ごうどう}は行^{かつどう}えなかつたが8月と12^{おこな}月^{がつ}

がつ ちゅうげん せいぼ も あいさつ うかが こうりゅう けいぞく
月にお中元・お歳暮を持って挨拶に伺い、交流は継続した。

はんばい
(販売)

○コロナウィルスにより販売自粛

かつどう
(ボランティア活動)

○特別養護老人ホーム 金井原苑 コロナウィルスの影響により活動自粛

○特別養護老人ホーム しょうじゅの里 コロナウィルスの影響により活動自粛

みどりくしゃかいふくしきょうぎかい
○緑区社会福祉協議会 ハーモニーみどり

コロナウィルスの影響により活動自粛

みどりくしゃかいふくしきょうぎかい
○緑区社会福祉協議会 ハーモニーみどり

コロナウィルスの影響により活動自粛

そうごりかい
(相互理解)

○インスタグラムへ活動内容の投稿

○ユーチューブでの動画配信を行った。

けんこう かん とりくみ
5, 健康に関する取組

けんこうてき しょくじ
(健康的な食事)

○健康を意識した食事の提案をご本人へ行い、必要に応じご家族や

グループホームとも話し合い対応をした。

けんこうてき うんどう
(健康的な運動)

○天候や気温を見ながらウォーキングをした。

せいそうかつどうじ うんどう いしき さんか いただ
○清掃活動時に運動も意識し参加して頂いた。

こころ あんてい かん と く
(心の安定に関する取り組み)

がいしゅつせいげん うんどう いしき さんか いただ
○コロナによる外出制限やストレスにより心のバランスを崩した方などへ個別対応
をした。

もくてき ゆうきゅう ていあん
○リフレッシュを目的とした有休の提案やアナウンスを積極的に行った。

2021年度 第3かたるベ社(居場所作り支援)事業報告

かつどうないよう 【活動内容】

しんがた かんせんよぼう てってい
1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

みつしゅう みっせつ みつべい さ
(1)「密集」「密接」「密閉」を避ける

ざいたくきんむ じ さしゅつじん じっし
・在宅勤務、時差出勤の実施

にちちゅうかつどう かい かい さぎょうへや わ
・日中活動を1階と2階の作業部屋に分け、パーテーションを設置

にちちゅうかつどうおよ ちゅうしょくじ へや かい かい じょうきょう おう しょくじ じかんたい
→日中活動及び昼食時は部屋を1階と2階に分け、状況に応じて食事の時間帯を
ずらしました。

ちやくよう てってい かんき
(2)マスクの着用を徹底、換気

ちやくよう つけかた こえ まいじ かいじょう しつないかんき じっし
・マスク着用と付け方の声かけ、毎時2回以上の室内換気を実施

ていきてき しつないかんき じっし
→定期的に室内換気を実施しました。

かいしょくどう わしつ かんきせん せっち
→1階食堂と和室に換気扇を設置しました。

しゅししょうどく て ふれる ぶぶん しょうどく
(3)手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒

しゅししょうどく てあら こえ たんきにゅうしょ れんけい たてもない しょうどく
・手指消毒・手洗いうがいの声かけ、短期入所と連携し建物内を消毒

たんきにゅうしょ れんけい ていきてき たてもない しょうどく
→短期入所と連携し定期的に建物内を消毒しました。

(4) 検温 など、健康管理の徹底

・職員のダブルチェックで検温を行い記録に残す

→社員出勤時、アルコール消毒の声かけと検温を行い記録に残しました。

→LEBER(健康観察アプリ)を通じて社員、職員の体温と健康状態を確認しました。

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

・感染予防に配慮しご家族面談を ZOOM で実施、ご家族のお話を傾聴して気持ちに

寄り添い、相互理解を深める

→面談にてご家族の楽しかった話や辛かった話を聴き、相互理解を深められました。

・個別支援面談や日々のコミュニケーションから「生きづらさ(壁)」を明らかにする

・個別支援計画の本人の希望に対して新たに「生きづらさ(壁)」が表出した場合、本人、

関係者で集まり考えられる支援を話し合い、サポートを強化する

・アルコール依存、盗癖、引きこもり、暴力、お金に対する拘り、被害妄想、精神的不安定など

の傾向がある人を中心にミーティングを行い、相手の話を受け入れ、お互いの経験や

考え方の違いを認め合い、相互理解を深める

→精神的不安定な方を中心に関係者で集まりオープンダイアログを行い相互理解が深まりました。

3、充実した社会生活に向けた取り組み

・感染予防として納品、受品、リサイクル品の回収は直接行わず遠隔で実施、外仕事は手袋、

ゴーグル、防護服の着用

→感染対策として衛生用品の着用を徹底して取り組みました。リサイクル品の回収はお客

さま あ おくがい うけと
様と会わずに屋外で受取りました。

ざいたくきんむ じゅうじつ む ほんにん かぞく みつ れんらく とりあい たいちようめん さぎょうしんちよく かくにん
・在宅勤務の充実に向けてご本人・ご家族と密に連絡を取り合い、体調面・作業進捗の確認、

かてい とく かつどう うんどう さんぽなど いっしょ かんが
ご家庭で取り組める活動(運動、散歩等)を一緒に考える

はいそうさぎょう せいさだいがく しぎょう かんまえ しゃいん しょくいん けんおん おこな がっこうがわ けんおんひよう ていじ
・配送作業(星槎大学)の始業30分前に社員・職員の検温を行い、学校側に検温表を提示

かつどう
して活動に入る

ひ び とりひきさき はいたつ けんおんひよう ていじ あんぜん とく
→日々、取引先へ配達メンバーの検温表を提示し安全に取り組みました。

ひ かた たい けいぞくてき じたくほうもん でんわれんらく がいしゅつ つく
・引きこもりがちな方に対しての継続的な自宅訪問・電話連絡、外出のきっかけ作り

ひ しゅつきん きよひ でんわれんらく じたくほうもん そうげたいおう
→引きこもりがちな方や出勤に拒否がある方に対し電話連絡、自宅訪問、送迎対応しまし
た。

こ こ かんがえかた かんきょう ちが みとめあ じょうきょう いばしょつく
・個々の考え方や環境の違いを認め合い、状況に応じた居場所作りとコミュニケーション

はか きんむじかん かつどうないよう じゅうなん たいおう
を図る(勤務時間、活動内容など柔軟に対応)

しゅうだん しごと こと にかて かた こべつ しごと はいたつ わし こべつ さぎょうへや
→集団で仕事をする事が苦手な方に個別の仕事(配達、和紙作り等)と個別の作業部屋を

ていあん じっし
提案して実施しました。

いばしょ しごと つな かんけいつく かか かた くふう
・居場所作りから仕事に繋がるような関係作りと関わり方の工夫

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

ちいき せいそう びか かつどう かいしゅう きんりんきぎょう じゅちゅうしごと ちいき
・地域の清掃や美化活動、リサイクル品の回収、近隣企業からの受注仕事を通じて、地域と

しんらいかんけい そうごりかい ふか
の信頼関係(相互理解)を深める

じょうきょう あ きぎょう みつ れんらく とりあい そうほう あんぜん びか かつどう じゅちゅう
→コロナの状況に合わせて企業と密に連絡を取り合い、双方に安全な美化活動や受注

しごと とりくむ こと
仕事を取り組む事ができました。

ちいき ひとりく こうれいしゃ かかわり にわ くさ びか かつどう
・地域で一人暮らしされている高齢者との関り(庭の草むしりなどの美化活動)

→地域で暮らされている高齢者宅の美化活動を行いました(11月)。

・地域で居場所がない方との関わり(実習や新規受け入れ)

・様々な機関や支援者との信頼関係(相互理解)を深める

5、健康に関する取組

・健康面を意識したバランスの取れた食事への声かけ・提案

・一人暮らしの方に健康面、衛生面の支援

→一人暮らしの方の身だしなみや食生活のアドバイスをしました。

→一人暮らしで自炊を始めた方に対して衛生面と金銭面のアドバイスをしました。

・短期入所と連携して生活面の支援をする

・仕事の合間にスポーツ活動や川沿いの散歩を取り入れ、心の安定を図る

2021年度 ジャスミン事業報告

(かっとうないよう) 【活動内容】

1.新型コロナウイルス感染予防の徹底

三密を避ける。

マスク着用換気アルコール消毒などをし、検温など健康管理する。

→日々実施している

2.生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

○ZOOM を利用し個別支援会議、個別支援面談を深める→実施していました

○ZOOM を利用しお母さん達の交流会を行う、お互いの苦しみ理解しあい

せいこうけいけん わかちあう こうりゅうかい こべつたいおう
成功経験を分かち合う。→交流会はしてありませんが個別対応していました。

ひつよう とき こべつかぞく しゅうちゅうてきしえん おとうさん かんせん
○必要な時、個別家族のトラブルを集中的支援する。→ Kさんのお父さんはコロナに感染
された時 ジャスミンがご家族と連絡をし 必要な物資を届け全力で助け、お父さんの
いのち まもりました
命を守りました。

りよう しんにゅうしゃいんりよう おこなう
OZOOM を利用して新入社員利用のインターシープを行う→Sさんが ZOOM のインター
シープと現場の実習を経て入社することになりました。

3. 充実した社会生活に向けた取り組み

① 販売活動

i お客さんと距離を置くためラジコンを使って商品やチラシを届く。いろいろ工夫して。

ジャスミンの店頭販売の再開する→店頭販売再開しました。

ii. 地球の環境にやさしく健康にもよい商品を開発販売する。

→yahoo ショッピングで販売開始した

iii 生産者しか出店できない。わくわく広場の委託販売は継続する。

→販売継続しています

② 清掃活動

つづきやくしよ いたく みなみしゅうへん せいそうかつどう けいぞく けいぞく
都筑区役所から委託されたクリーンタウン・センター南周辺の清掃活動を継続する。→継続
しています

③ 就労支援

ZOOM を利用して就労先と社員の相互理解を促進する。

→就労先との連携はできませんでした

4. 相互理解の持てる社会に向けた取り組み

社員が主役の取材活動をし、ドキュメンタリーを作り、国内外で健常者と障害者の相互理解の架け橋を勤める。→最近「ジャスミンの自治会の選挙」のドキュメンタリー作成しYouTubeで見える。

5. 心と身体の元気さを保つため週に一回ずつ下記の活動を行う。

- ① 森林浴→週に一回
- ② 座禅→7階で少人数で週に2～3回実施している
- ③ 24式太極拳と八式太極拳(八段锦)→毎週実施している
- ④ 写経→毎日実施している
- ⑤ 心を落ち着かせる音楽→毎日実施している

2021年度 うれしの事業報告

【活動内容】

1. 新型コロナウイルス、感染予防の徹底

・毎日、出勤時の手指消毒、検温(1日3回)、事業所内と送迎車内の消毒を行う

→毎日の手指消毒、事業所内消毒、送迎車内消毒、検温等は担当者を決めて行った

・活動内容によって室内のレイアウトを工夫して活動する

→できるだけ対面や密を避けるようレイアウトを工夫した

サーキュレーター、換気扇、扇風機、二酸化炭素測定器等を使用して換気の効果を高めた

・マスクの着用が難しい方たちが、着用できるように支援する

→マスクの着用が難しい方が多数いるが、できる限り着用してもらえよう支援した

・ご家庭での感染予防、ご家族の生活状況を確認する

→定期的にご家族と連絡を取り状況を確認した

・会議、面談、その他活動で積極的にZOOMを活用する

・コロナ渦で苦しんでいる方がいないか意識して支援する

→ZOOMを活用しご家族とのコミュニケーションに力を入れた

2. 生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

・本人、ご家族と継続的に個別支援面談を行い、違いを認め合い、

相手の苦しみを受け入れて、相互理解を深める

→個別支援面談は形式的にならないことを意識して、ご家族との

コミュニケーションを深めた。

・複数のご家族でミーティングを行い、違いを認め合い、相手の苦しみを受け入れて、相互

理解を深める(少人数でのおやじの会など)

・個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにし、支援を強化する

・強みに注目し、褒め合い、認め合い、相手の苦しみを受け入れて、

ミーティングを行う(オープンダイアログ)

→帰りのミーティングではお互いを褒め合い、認め合うことを意識して取り組んだ。

3. 充実した社会生活に向けた取組

・全社員が適材適所で仕事に参加できるように支援する

(食品製造、精米、食品梱包用品、梱包作業、紙すき、ストラップ製造、販売等)

・配信イベントなど新しい職域を開拓する(原企画)

・近隣へのポスティングと販売

・うれしの前での販売

・季節やイベントに合わせた商品の製造と販売

・インスタグラムやツイッターを活用した宣伝活動

・在宅勤務の方が ZOOM で活動に参加できるように支援する

(朝礼、体操、音楽、ミーティングなど)

→新しい取り組みとして鴨居駅でのリモート販売、新商品(おからクッキー等)の製造と販売、

YOUTUBE動画配信を行った。

4. 信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

・川和町内会との信頼関係(相互理解)を深める

・関係機関との信頼関係(相互理解)を深める

→コロナウィルスの影響により、交流をすることができなかった

5. 健康に関する取組

・毎日、栄養のバランスのとれた食事を提供する

えいよう しょうじゅう おかし かいはつ
・栄養のバランスのとれた食事とお菓子のメニュー開発

うんどう おんがく めいそう とりいれて こころ あんてい はかる
・運動、音楽、瞑想などを取り入れて、心の安定を図る

しょうじゅう ていきょう たいそう おんがく めいそう ひび かつどう おこなった
→食事とおやつの提供、体操、ウォーキング、音楽、瞑想を日々の活動として行った

2021年度 うれしの児童放課後等デイサービス事業報告

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

(1)「密集」「密接」「密閉」を避ける

ふとくしていたすう かたがた たいざい ばしよ かつどう さける
・不特定多数の方々が滞在する場所での活動を避ける

(2)マスクの着用を徹底、換気

ちやくよう にがて じどう たいしてちやくよう ちやうせん うながす
・マスクの着用が苦手な児童に対して着用の挑戦を促す

(3)手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒

ちゆうしよくまえ てゆび しょうどく てってい
・おやつ、昼食前にテーブル、手指の消毒の徹底

(4)検温など、健康管理の徹底

そうげいじやうしやまえ つうしよ さい けんおん しょうどく てってい
・送迎乗車前、または通所の際に検温、消毒の徹底

あそび なか みっしゅう みっせつ さける けんおん しょうどく かんき てってい
遊びの中で密集・密接を避けることはできなかったが、検温・消毒や換気を徹底した。

(ア) 生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1) 感染予防に配慮し、ZOOMなどで面談を実施

(2) 個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

・児童の生きづらさを明らかにした上で、家族の生きづらさも明らかにする

2時間のモニタリング面談を実施し児童・家族の生きづらさ(壁)の相互理解を深めた。

(3) 個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

・身体拘束やルールなどで行動を制限が必要な場合 個別支援計画に明記するが、

それに変わりうる支援について常に模索する

激しい表現方法も生きづらさ(壁)によることだと理解し、気持ちに寄り添い支援を

行った。

(4) 個別支援会議、個別支援面談を深める

・児童・生徒およびご家族との信頼関係を深める

・個別支援計画にて、児童・生徒の将来展望を深める

・適切な親子関係に向けた支援(親子の信頼関係を深める)

・将来展望を見据えた見学と研修は感染予防を配慮し、ZOOMや映像を用いる

(日中活動施設、グループホーム、障害者雇用)

・将来展望を見据え、短期入所との連携

各事業所と連携し短期入所とグループホームの体験入居を利用し、親子関係や

将来展望を深めた。

(5) 違いを認め合い、相互理解を深め合う中で、「新しい生活と未来」を切り開く

・オープンダイアログで注目し認め合いの文化を形成する

- 子育てに悩むご家族に対して相互理解を深め、家庭内コミュニケーションが円滑に行えるよう支援する。

(イ) 「放課後等」の充実に向けた取り組み

- (1) 感染予防に配慮した、新しい活動プログラムを模索し実施する

自宅で自粛中の児童がZOOMを介し活動に参加することで新しい活動様式を見出した。

- (2) 個々の特性に応じた支援

- 各自の特性と興味に応じたプログラムの提供(運動、音楽、ゲーム、個別対応など)

アートを活動に取り入れ、個々の新しい長所の発見につながった。

- (3) 社会適応支援

- プログラムを通して人間関係、ルールを守ることの大切さを育む

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

- (1) 感染予防に配慮した、コミュニケーションを模索し実施する。

- (2) 関係機関をはじめ、様々な機関や人との信頼関係(相互理解)を深める。

関係機関とカンファレンスを実施し、生きづらさ(壁)のサポート強化や将来展望を深めた。

5、自主的、主体的、社会参加に向けた取組

- (1) 遊びなどを通し、自主性や主体性を育む

- (2) 役割分担を明確にし、各自が主体的に活躍できるよう支援する

オープンダイアログ、活動や遊びの中で注目され活躍できる場面を設けた。

6、健康に関する取組

- (1) 栄養のバランスのとれたおやつを毎日提供する
- (2) プログラムの中で、適度な運動を毎日行う
- (3) 心の安定に向け、オープンダイアログを毎日行う
- (4) 毎日「瞑想」(マインドフルネス)を実施

2021年度 共同生活援助事業報告

【活動内容】

1、新型コロナウイルス予防の取り組み

コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、検温や手洗いの徹底、

ソーシャルディスタンスの声掛け、換気、ホーム内の消毒の実施

食事に関しては、時間をずらし、向かい合わないように対応、アクリル板の設置

(多くて2名での食事)

アプリによる体温管理・二酸化炭素測定器を利用した換気対策

通院に関しては、遠隔診療や薬の受け取りなど職員が代行する

検査等で通院が必要な際は病院内での滞在時間が短くなるよう考慮し、アルコール等

持参しながら感染対策を徹底する

→感染対策を徹底しリビングで集まらないように対応

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

- (1) 感染予防に考慮しZOOMなどで面談を実施

こべつしえんかいぎ かぞくめんだん おこな
・個別支援会議やご家族面談などリモートで行う

かんきょうとう かにい でんわなど たいおう
・ネット環境等がないご家庭には電話等に対応

(2) こべつしえんめんだん い かにべ あき
個別支援面談で「生きづらさ(壁)」を明らかにする

しゃかいせいかつ うえ しょうがい
・社会生活をする上で、障碍となることをあきらかにする

(3) こべつしえんけいかく い かにべ たい きょうか
個別支援計画で「生きづらさ(壁)」に対するサポートを強化する

こうどうせい じ こじつげん む しえん じゅくりよ
・行動規制やルールではない、自己実現に向けた支援について熟慮する

(4) こべつしえんかいぎ こべつしえんめんだん ふか
個別支援会議、個別支援面談を深める

にゅうきょしゃひとり じ こじつげん む しこうさくご くりかえす
・入居者一人ひとりの自己実現に向け、試行錯誤を繰り返す

(5) ちがい みとめあい そうごりかい ふか あ なか あたら みらい きりひらく
違いを認め合い、相互理解を深め合う中で「新しい未来」を切り開く

にゅうきょしゃ しょくいん ちが みとめあいそんちよう
・入居者、職員それぞれの違いを認め合い尊重する

つよ ちゅうもく みとめあうぶんか めざす
・強みに注目し、認め合う文化を指す

しゃかいてきふてきおうこうどう ちゅうもく つよみ ちゅうもく みとめあう
・社会的不適応行動などに注目するのではなく、強みに注目し、認め合う

たいめん あうきかい へ ため でんわ ごかぞく ひんばん れんらく とりあつた
→対面で会う機会が減った為、電話や ZOOM でご家族と頻繁に連絡を取り合った。

3、充実した社会生活に向けた取組

(1) 生活

ひとりぐら けっこん ふつう せいかつ じつげん きほんりねん
・グループホーム、一人暮らし、結婚など、普通の生活を実現(基本理念)

ちいき じちかいかつどう せつきよくてき かか そうごりかい ふか
・グループホームは、地域の自治会活動に積極的に関わり、相互理解を深める

しょうがい な かか そうご たすけあえる ちいきしゃかいじつげん む かつどう
・障碍がある無しに関わらず、相互に助け合える地域社会実現に向け活動

(2) 余暇

・自分の意思で、自分の時間を自由に過ごせる環境を実現(基本理念)

・地域の中で、普通に利用できる余暇環境と人間関係を構築

・余暇のコーディネートを行う

・社会資源の提示、ガイドヘルパー派遣の連絡調整を行う

コロナウィルスの感染対策を考慮しつつ入居者が日々充実した生活がおくれるよう
模索する。

ガイドヘルパー利用で近隣の散歩や買い物、リモートでイベント鑑賞、リモートで
ギターレッスン、リモートバンジョーレッスンなど。

→個別で話し合い出来る範囲で考え活動した。

→ホーム内で楽しめることも考え行った(ぬりえ、ゲーム、かき氷、花火、おやつ作り等)

(3)違いを認め合い、相互理解を深め合う中で「新しい未来」を切り開く

・それぞれの違いを認め合い尊重し合う社会を作る。

4、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取組

(1) 町内会との信頼関係(相互理解)を深める

(2) 関係機関との信頼関係(相互理解)を深める

(3) 近隣清掃や挨拶をし、地域社会との信頼関係(相互理解)を深める

コロナウィルス感染症対策として、地域に関しても行事や清掃活動等中止になっていること

も時々あるが地域清掃等行われる際は職員のみ、または感染予防が徹底できる入居者

数名で参加するなど状況に応じ対応

(4) 違いを認め合い、相互理解を深め合う中で「新しい未来」を切り開く

5、自主的・主体的・社会参加に向けた取組

(1) ナチュラルファースト(自治組織)の活動を支援する

(2) ピープルファーストの活動を支援する

(3) 各自が自主的に活躍できるよう支援する

6、健康に関する取り組み

(1) 健康的な食事

・栄養バランスのとれた食事をサポートする

・職員は定期的に食品衛生責任者講習を受ける

→ 体を動かす機会が少なくなってしまうことから食事の内容に気をつけた

(ごはん) (こ) (んにゃ) (く) (まい) (ま) (ぜ) (て) (たく) (ぎ) (っ) (こ) (く) (い) (れ) (る) (や) (さい) (ち) (ゅう) (し) (ん) (ど) (う) (等)

(2) 健康的な運動

・余暇の過ごし方を意識する

→ ガイヘルや職員と一緒に散歩や休日の昼食等の買い物で少し遠回りをするなど

ウォーキングを中心に考えホーム内だけに閉じこもることないように考慮した

(3) 心の安定に関する取り組み

・個別の相談をしっかりと聞けるように一人ひとりの時間を大切にする

・リラックス出来る環境作りを行う

→ コロナ禍で外出制限も多くストレスが溜まりやすいので個別対応に力を入れた。

(は) (な) (す) (じ) (か) (ん) (こ) (べ) (つ) (お) (ち) (ゃ) (す) (じ) (か) (ん) (つ) (く) (る) (ど) (う) (い) (っ) (し) (ょ) (お) (こ) (な) (う) (ど) (う) (等)

7、緊急時の対応

- ・**同居者の生命、安全を第一に考えた速やかな対応をとれるよう AED、防災、避難訓練を定期的に行う。**

8、一人暮らしへ移行した人への支援

- ・**金銭管理方法、買い物、手続き、食事、健康面、近隣との関係等必要に応じた生活の援助を行う。**

コロナウィルス感染症対策として、対面ではなく電話で状況を確認。

必要に応じて感染対策を行い対面支援を行う。

9、2021年度、都筑区南山田に新ホーム(ルークス)オープン

(2022年3月)

2021年度 移動支援事業報告

【活動内容】

(1) 新型コロナウイルス、感染予防の徹底

- ・出勤前に体調をメールで報告することが定着した
- ・感染症対策グッズを配布し、その後は足りないものがあれば都度補充し感染の予防に努めた。

特別な理由が無い限りは外出先を限定(散歩・近所への買い物のみ)し状況により随時

調整を行っての対応とした。

(2) 生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

・活動制限のある中で、利用される方のニーズと合致しない部分へ納得頂ける様にご説明をした。

(3) 充実した社会生活に向けた取り組み

・グループホームでコロナ感染者と接触があった場合、保健所から濃厚接触者と特定されなくても自主的に外出を自粛し、ヘルパーにも説明し接触を避けていただいた。

・年度末にヘルパー研修を行っていたが、来年度は事業休止となるため今年度は行わなかった。

(4) 信頼関係（相互理解）の持てる社会に向けた取り組み

・コロナ禍で外出先が限定されて毎回同じような場所へ出掛けている分、顔見知りになる方もいる様子。

2021年度 生活本舗事業報告

【活動内容】 あそび本舗

(1) 充実した社会生活に向けての取り組み

・7月17日（土）10:30～11:30 にオンラインバスツアーの徳島旅行に21組が参加した。本当に吊橋を渡っているかのような細かな演出が成されていたり、実際に阿波踊りを体験したりすることができて盛り上がった。

・5月21日 神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターとZoomで打合せ。

かたるべ会のことを事前によく調べてくださっており、かたるべ会に合った

アーティストとの繋がり方や各地域にある芸術文化施設を紹介していただいた。

・分室開放を再開できないかと話があったが、目的は他者との交流だと思われた。

集まって何かをするのは難しい状況ではあったので再開はしなかった。

(2) 信頼関係（相互理解）持てる社会に向けた取り組み

・グループホームエリア会議に参加し、余暇支援に関する意見交換を行った。

各エリアからオンラインでのイベントなど様々なご意見をいただきました。

2021年度 短期入所事業報告

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

(1)「密集」「密接」「密閉」を避ける

(2)マスクの着用を徹底、換気

(3)手指消毒、ドアノブなど、手に触れる部分の消毒

(4)定時検温など、健康管理の徹底

(5)利用前の健康情報確認

(6)食事は時間をずらすか各居室にて食する

エアロゾル対策として廊下部分に換気扇を設置しました。

2、生きづらさ(壁)に対するサポートの強化

(1)特に外部の方は個別面談で各自の「生きづらさ(壁)」を明らかにする

・壁に対しての支援を考える

(2)所属先の支援計画に記載されている、生きづらさに対する支援を深める

(3) 本人、ご家族、職員がお互いの違いを認め合い、相互理解を深めて新しい生活と

未来を目指す

生きづらさに焦点を当てて、日頃の関りを意識しました。

3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1) ご家族の体調不良や緊急を要する案件など不測の事態への対応

・不測の事態へ対応することで、日々の暮らしへの安心感を持ってもらう

(2) ご家族から離れた生活を経験する事による自立生活への足がかりの場

・グループホーム入居や一人暮らしに向けた体験的な自立生活の取り組みを行う

(3) 不安定な精神状態によって生じた反社会的行為により家庭やグループホームでの生活

が困難になった場合の生活の立て直しを図る為に居場所を目的とした支援も行っていく

(4) 複数の宿泊施設を利用する事で生活基盤が不安定にならないよう安定した短期入所

利用を心がけ、安心、安定した生活が送れるような社会資源の開拓を検討する

・長期入院退院後の社会復帰に向けた取り組みも検討する

コロナウィルスの感染爆発から、短期利用の必要性の高くない場合は利用を控えて頂くこと

がありました。また、短期入所職員がグループホームのコロナ対応に伴うヘルプに行ったこと

で、事業所を休所する事が度々ありました。

4、自主的・主体的・社会参加に向けた取り組み

(1) 短期利用者の自己判断、自己決定、自己責任のもと自分で解決しかねる問題、助言が

必要な状況、経験がないことにより自己判断しかねる事項等状況を考慮し、短期利用者の

個性を尊重し指導ではない適切な相談、援助を行う

(2) 様々な事業所からの短期利用がある為、関係機関や社会資源の連絡調整を図り、生活

基盤をすることで主体的に社会参加が出来る様な支援を行う

(3) 短期入所利用中のコロナ禍においての余暇の選択肢を増やしていく

コロナ禍における余暇の過ごし方の選択肢を増やす試みとして、利用状況に応じて散歩等を

行いました。

5、健康に関する取り組み

(1) 通所先や家庭と健康状態の情報を共有する

(2) 状況に応じて服薬援助する

(3) 状況に応じて通院支援を行う

(4) 栄養バランスのとれた食事を提供する

外部の方の利用時には、利用前の健康状態確認を聞くようにしました。

2021年度 相談支援事業報告

【活動内容】

1、新型コロナウイルス、感染予防の徹底

面談、モニタリングは可能な限りZOOM等リモートで行う

対面での面談が出来かねているので、基本的にはリモートで参加しました。

2、生きづらさに(壁)に対するサポートの強化

(1) 個別面談、モニタリングで各自の生きづらさに対する計画を作成して振り返る

(2) 所属する事業所で作成している支援計画と方向性を揃えて、生きづらさに対する支援計画を深める

(3) 本人、ご家族、職員がお互いの違いを認め合い、相互理解を深めて新しい生活と未来を目指す

所属している事業所の個別支援計画の内容にある生きづらさを意識して計画を作成、モニタリングをしました。会議の中で着目点を確認し合いました。

3、充実した社会生活に向けた取り組み

(1) 支給決定時

利用するサービス事業者等との連絡調整を行いながら情報の共有を図り、それぞれの事業所で作成する支援計画指針にずれのない総合的なサービス等利用計画書の作成を行う

(2) 支給決定後

所属する事業所と連絡調整、情報共有を行いながら計画の見直し(モニタリング)を行い、相互理解を深め、強みに注目し、本人が求めている事への実現に向け活動する

(3) 社会資源の調整

・計画作成のみでなく、その人のおかれた状況を考えて社会資源の調整を行っていく

・地域にとって社会資源の創出が必要な場合には、地域の多様な機関とネットワーク構築を図り相互理解を深めながら調整していく

一人暮らしを希望している方に対して、他法人のアパートタイプのグループホームの見学の

ちょうせい おこな にゆうきよ
調整などを行い、入居となりました。

4、自主的・主体的・社会参加に向けた取り組み

とく しんき ばあい りよう ひと いし そ りよう けいかくさくせい で き よう じょうほう
・特に新規の場合、利用する人の意思に沿ったサービス利用や計画作成が出来る様に、情報
ていじ くふう じぎょうしょ じっしゅう たいけんりよう おこな しゅたいてき けいかく えが しえん
提示の工夫や事業所の実習や体験利用を行うことで、主体的に計画が描けるような支援を
する

5、健康に関する取り組み

しよぞくじぎょうしょ かてい けんこうじょうたい じょうほう きょうゆう
・所属事業所や家庭と健康状態の情報を共有する

ふくしきかん つながっていない人 ひとりぐらしで利用する人などは、日頃の健康に関する
じょうきょう りゆうい ひつよう つういんつ そ どう おこな
状況に留意して、必要によっては通院付き添い等を行う

とく しゅうろう はい かた けんこうじょうたい かくにん ていきてき おこな
特に就労されてグループホームに入っていない方などの健康状態の確認を定期的に行い
ました。

2021年度 就労支援 事業報告

【活動内容】

1、充実した社会生活に向けた取り組み

しゃいん たいおう しゃかいじょうきょう おう かつどう けんとう
*社員への対応 ※社会状況に応じて、活動を検討していく

ほんにん きぼう いし さんちよう きょうみ しごと
・本人の希望や意思を尊重して、興味ある仕事へチャレンジする。

つよ ちゅうもく かんが しゅうろうしえん
・強みに注目し、ジョブマッチングを考えた就労支援をする。

しよくばけんがくとう ほうほう もさく
・職場見学等、オンラインでの方法も模索していく。

せっきよくてき しん きかいたく かんせんじょうきょう おう しゅうしょく
⇒積極的に新規開拓はできなかったが、感染状況に応じて、就職にチャレンジをした

しゅうろうしゃ たいおう
*就労者への対応

・可能な限り、直接会うことは控えて、電話やメール、オンラインでの連絡をする。

・就労期間に関わらず、定着支援をする。

・会社イベントは中止になることが多いので、再開した場合は状況に応じて対応する。

・本人の状況に応じて、柔軟に転職支援・生活支援をする。

⇒直接の訪問は控え、基本的には電話やメールでの連絡としたが、一人ひとりの状況に

合わせて、感染対策をして対面で会うこともあった

(体調不良による長期休暇、生活面での人間関係・金銭トラブルに関する対応)

⇒会社都合等により、退職となった就労者への転職活動をした

*新規開拓、就労先との関わり

・必要な場合を除いて、職場訪問は控え、打ち合わせはオンラインを活用する。

・既存の求人につまみならず、就職に繋がる仕事は模索していく。

・就労先では現状の仕事だけではなく、新しい仕事の可能性も広げていく。

・セミナーや様々なオンラインを活用し、情報交換・情報収集する。

⇒就労先企業への訪問は控え、電話やメールでの連絡を中心とした

訪問が必要な場合は時間帯や移動方法等、感染対策をして訪問をした

2、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

*就労先との関わり

・社会状況に応じて、就労先の勤務時間等の状況を確認する。

・かたるべ会の行事(入社式、交流会等)のご案内をし、定期的に連絡をする。

⇒緊急事態宣言時やワクチン接種時等連絡調整をした

3、自主的・主体的・社会参加に向けた取り組み

*就労者への対応

・就労者の会をZoomを活用したオンライン開催を検討する。

・就労者やご家族へ、かたるべ会のイベントや余暇等の情報を伝える。

⇒オンラインの就労者の会は開催せず、個々に電話やメールの対応をした

4、健康に関する取り組み

*就労者への対応

・健康診断の結果等、必要に応じて対応する。

⇒持病のある就労者への通院の付き添いやワクチン接種の対応をした

・2021年度の就職状況

(株)ティップネス-1名 合計 1名

・2021年度の退職状況

都筑郵便局-1名、(株)ジュノー-1名、(株)シバックス-1名、

ファイザー(株)-1名、成城石井(株)-1名 合計 5名

2021年度 相互理解・交流事業報告

【活動内容】

1、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

・カルチャーチェンジ指針を通して、違いを認め合い、相互理解を深める文化を伝える。

・かたるべ会主催の交流会をオンライン開催し、外部との相互理解を促進する。

・演劇、講演、音楽活動等、オンラインを活用し、地域や社会との相互理解を深める。

・ピープルファーストやてつなぎつづき、神奈川県知的障害施設団体連合会に関わり、
他法人との連携、相互理解を深める。打ち合わせ等、オンラインを活用していく。

⇒ピープルファーストやてつなぎつづきはオンラインでの打ち合わせに参加した

⇒バンジョー教室はオンラインで行い、かたるべ会関係者、一般の方も一緒に参加をした

⇒一部の大学ではオンラインで講演活動を行った

⇒Zoomによるオンラインで交流会を実施

日時:2022年3月11日(金)18:30~20:00

内容:新しい取り組みと今後の展望

参加者:112名(外部33名、内部79名)

2、自主的・主体的・社会参加に向けた取り組み

・ピープルファーストの活動にオンラインで参加し、自主性・主体性を尊重する。

・ナチュラルファースト(法人の自治組織)の活動を活かし、様々な活動に繋げる。

・各地域、社会状況に応じて、自治会に参加し、地域との相互理解を深める。

⇒ナチュラルファーストの打ち合わせをオンラインで実施し、各事業所から参加した

今後もオンラインでの活動を中心とし、YouTubeも活用しながら活動する方針

⇒毎月、オンラインによるピープルファースト定例会に参加を支援

けんちじ かいさい どうじしゃ たいめん はなしあい
県知事とのディスカッションも開催され、当事者は対面で話し合いをした

⇒オンラインによる、ピープルファースト兵庫全国大会に参加
ひょうごぜんこくたいかい さんか

にちじ にち
日時:2021年7月18日(日)13:00~16:00

さんかしゃ めい どうじしゃ めい しょくいん めい
参加者:17名(当事者9名、職員8名)

※ピープルファースト

ねん はじ ちてきしょうがいしゃ どうじしゃだんたい かっこく ひろ
1973年にアメリカで始まった知的障害者の当事者団体で、各国に広がっている。

しょうがいしゃ まえ にんげん おもい さまざま かつどう おこなって
「障害者である前に人間である」という思いから、様々な活動を行っている。

にほん まいとしぜんこくたいかい かいさい かいさいなし
日本では毎年全国大会が開催されているが、2020年は開催無し。

(2021年は神戸、2022年は北海道の予定)
こうべ ほっかいどう よてい

2021年度 職員研修事業報告 ねんど しょくいんけんしゅうじぎょうほうこく

かつどうないよう 【活動内容】

1、「支援」の充実に向けた取り組み しえん じゅうじつ む とく

しんじんしょくいんたいしょう
*新人職員対象

さいようご 1かげつ しんじんしょくいんけんしゅう か きこうもく じっし
・採用後1ヶ月 新人職員研修で下記項目を実施する。

[Zoomによるオンライン研修]
けんしゅう

きほんりねん しえん あ りゅういじこう ししん
基本理念、支援に当たったの留意事項、カルチャーチェンジ指針、

あい きづく ないかん しょうがいしゃぎゃくたいぼうしほう さべつかいしょうほう
愛に気付くコミュニケーション、内観、障害者虐待防止法、差別解消法

たいめん しんじんしょくいんけんしゅう
⇒対面による新人職員研修

にちじ ど
日時:2021年5月29日(土)12:00~16:30

さんかしゃ しんじんしよくいん めい
参加者:新人職員8名

さいようご かげつ かくじぎょうしょ しよぞくちよう じっし
・採用後1～2ヶ月、各事業所で所属長・エリアマネージャーにより実施する。

かくじぎょうしょ ずーむ けんしゅう
[各事業所、もしくはZoomによるオンライン研修]

ほうじんきやく きてい ほうじん
法人規約・規定、法人ガイドライン、リスクマネジメント

きかくていあんせいど ふうやくかんり ゆくえふめい じたいおう さいがいじこうどう
(企画提案制度、服薬管理マニュアル、行方不明時対応、災害時行動)

ぐりっでい らいん ずーむ つかいかた しょうがい きそちしき ふくししさく
GRIDY・どこキャビ、スカイプ・LINE・Zoomの使い方、障碍の基礎知識、福祉施策

がいぶけんしゅう
・外部研修

けんしゅう
[オンライン研修]

しよにんしゃけんしゅう しょうがいしゃしえん しゆさい かかん こうぎ
初任者研修(障害者支援センター主催 4日間)、てんかん講座

⇒オンラインによるてんかん基礎講座、20名が受講

たいめん しよにんしゃけんしゅう よこはまししゃかいふくしきょうぎかいしゆさい じゆこう
⇒対面による初任者研修(横浜市社会福祉協議会主催)、7名が受講

さいようご かげつ じぎょうしよほうもん
・採用後3ヶ月、事業所訪問

ずーむ ほうもん
[Zoomによるオンライン訪問]

にっちゅうかつどうしせつ すべて ほうじんないしせつ ほうもん かかん
日中活動施設、グループホーム全ての法人内施設を訪問する。(2日間)

さいようごずいじ あんぜんうんてんこうしゅう にっちゅうかつどうしよくいんたいしゅう
・採用後随時、安全運転講習(日中活動職員対象)

こべつ じつぎこうしゅう じっし ひつよう おうじてさいじっし あんぜんうんてん いしき
個別に実技講習を実施し、必要に応じて再実施し、安全運転を意識していく。

⇒4月-1名、5月-2名、10月-1名 11月-1名、12月-1名 実施

ぜんしよくいんたいしゅう
*全職員対象

しよくいんぜんたいけんしゅう ねん かい かくじぎょうしょ ずいじ
・職員全体研修(年2回)、各事業所(随時)

ずーむ けんしゅう
[Zoomによるオンライン研修]

ほうじんきほんりねん にんしき しょうがいしゃ しごと せいかつ よか しえん うえ ちがい みとめあい
法人基本理念の認識、障害者への仕事・生活・余暇の支援をしていく上で、違いを認め合い、

そうごりかい ふかめ しんらいかんけい きず しえん しつ たか ひとり たいせつ ひと ひつよう
相互理解を深め、信頼関係を築き、支援の質を高め、一人ひとりが大切な人たちであり、必要

とされていると実感できる研修を行う。

⇒4人1組の対面による、職員全体研修を実施

「①職員全体研修」

にち じ 日 時:2021年6月1日(火)~25日(金)14:00~17:00[18日間]

ない よう せい ちが とくちょう ぎゃくたいぼうし しえん かた
内 容:個性の違いと特徴、虐待防止と支援のあり方

さんかしゃ じょうきんしよくいん めい
参加者:常勤職員72名

「②職員全体研修」

にち じ 日 時:2021年11月8日(月)~12月24日(金)14:00~17:00[18日間]

ない よう 内 容:オープンダイアログ

さんかしゃ じょうきんしよくいん めい
参加者:常勤職員71名

きゅうめいこうしゅう かくじぎょうしょ かく じっし
・救命講習(各事業所、各エリアで実施)

せいじん たい しんぱいそせい A E D しょうほうほう しゅたい こうしゅう
成人に対する心肺蘇生とAEDの使用方を主体とした講習。

⇒グループホーム、各エリアで救命講習を実施した

2、信頼関係(相互理解)の持てる社会に向けた取り組み

みとめあい たかめあい いったいかん かんじ そうごりかい ふかめるとりくみ
・認め合い・高め合い・一体感を感じ、相互理解を深める取り組みをする。

・ジョブランク面談により、職務の確認をし、違いを認め合い、相互理解を深める。

⇒1月~3月にかけて、ジョブランク面談を実施した

3、自主的・主体的・社会参加に向けた取り組み

企画提案制度による、自主的・積極的な研修、自治会参加

その他、職務に応じた研修(食品衛生責任者講習、グループホーム連絡会等)

⇒オンラインによる食品衛生責任者講習等に複数参加

4、健康に関する取り組み

内科、精神科の嘱託医から学ぶ研修

2021年度 健康管理 事業報告

【活動内容】

1 健康診断

第1、第2、第3かたるベ社・ジャスミン・うれしの社員——年2回

GH入居者——年1回(各職場で対応)

職員 日中活動・移動支援・相談支援職員——年1回

GH・短期入所職員——年2回(労働安全衛生規則による)

GHアルバイト・ガイドヘルパー職員・ドライバー職員

40歳以上の社員・職員に人間ドック

40歳以上の女性社員・職員に婦人科健診

※サイクリニック:東京中央クリニック:神奈川予防医学協会

⇒1回目の健康診断は実施 6月～8月にかけて看護師による健診

(職員27名 社員125名 体重・血圧・尿糖・尿蛋白の検査)

2回目は12月以降に上記医療機関に分かれて実施しました

2回目を兼ねた人間ドックも神奈川予防医学協会にて実施しました

婦人科健診は対象者に希望を聞いての実施になりました

⇒健康診断集計 別紙-8

昨年度と比較すると視力が悪化した人が増えています。コロナ禍における生活習慣の

変化もあると思われま。また肝機能の値が悪くなった人が増えました。ちなみに

肝機能は薬の副作用・脂肪肝・飲酒により悪化します。良い面として、腎・尿酸や

糖代謝は異常なしの割合が多くなり、健康になった人も増えています

2 感染予防・衛生管理

- ・感染予防マニュアルに従い、衛生管理を徹底する
- ・感染防止のため、標準予防策の「密集」「密接」「密閉」の徹底
- ・在宅時及び事業所在籍時における検温の実施
- ・来客者の管理、訪問先への感染予防策実施

⇒感染予防は各事業所にて継続して実施しました

横浜市の施設職員対象のPCR検査を5月～翌年3月まで実施しました

- ・新型コロナウイルス予防接種の実施(職員・社員・入居者・ご家族)

⇒7月、8月に社員・職員の希望者をうれしのにて1回目・2回目の接種を実施

年明け2月、3月に法人で接種した人を対象に3回目を実施しました

ご家族にも声掛けし、希望者に1回目～3回目までの接種を実施しました

- ・ インフルエンザ^{よぼうせつしゅ}予防接種^{じつし}の実施^{しよくいん}（職員^{しゃいん}・社員）

⇒今年^{ことし}はワクチン^{すりようかくほ}の数量^{きび}確保^{じようきよう}が厳しい^{がつけじゅん}状況^{がつけじゅん}でしたが、10月下旬^{がつけじゅん}～11月下旬^{がつけじゅん}

までに希望者^{きぼうしゃぜんいん}全員^{せつしゅ}が接種^{せつしゅ}できました

- ・ インフルエンザ^{とう}・ノロウイルス^{りゆうこう}等の流行^{じようきよう}については、状況^{おう}に応じて^{たいおう}対応^{たいおう}していく

⇒2021年度^{ねんど} インフルエンザ^{かか}に罹^{ひと}った人^{ひと}はいませんでした

- ・ 衛生管理^{えいせいかんり}の徹底^{てつてい}——手洗い^{てあら}、うがい^{らいこう}の励行^{じようじ}、常時^{ちやくよう}マスク^{ちやくよう}の着用^{しゅししやうどく}、アルコール^{しゅししやうどく}手指消毒^{しゅししやうどく}

- ・ 衛生管理^{えいせいかんり}に関する^{かん}職員^{しよくいん}研修^{けんしゅう}

日中活動^{にちちゆうかつどう}——食品^{しよくひん}管理^{かんり}衛生^{えいせい}責任者^{せきにんしゃ}講習^{こうしゅう} 必要^{ひつよう}に応じて^{おう}受ける^う

食品^{しよくひん}に関する^{かん}研修^{けんしゅう}に参加^{さんか}（食品^{しよくひん}表示^{ひようじ}法等^{ほうとう}）

GH——食品^{しよくひん}管理^{かんり}衛生^{えいせい}責任者^{せきにんしゃ}講習^{こうしゅう} 外部^{がいぶ}研修^{けんしゅう}必須^{ひつす}

感性^{かんせい}予防^{よぼう}のために^{ないぶ}内部^{ないぶ}研修^{けんしゅう}（事務局^{じむきょく}会議^{かいぎ}にて）

⇒各事業所^{かくじぎやうしょ} 個々^{ここの}で講習^{こうしゅう}に参加^{さんか}し、資格^{しかく}を取得^{しゅどく}しました

- ・ 新型コロナウイルス^{しんがた}の感染^{かんせん}防止^{ぼうし}（クラスター^{ふせ}を防ぐ^{せつしよくかんせん}ために） 接触^{せつしよくかんせん}感染^{よぼう}の予防^{よぼう}

※アルコール^{しゅししやうどく}による^{ていきてき}手指消毒^{しゅししやうどく}・定期的^{しせつない}に施設内^{ひと}の人の手^てが触れる^ふ場所^{ばしよ}の消毒^{しゅししやうどく}・不用意^{ふようい}に

自分^{じぶん}の口^{くち}や鼻^{はな}を触^{さわ}らない・マスク^{せいけつ}を清潔^{たも}に保^{とう}つ等^{ひまつかんせん} 飛沫^{よぼう}感染^{よぼう}の予防^{よぼう}

※マスク^{ちやくよう}の着用^{たにん}・他人^{きより}との距離^{いじょう}を1m以上^あ開^{くうき}ける・空気^{なが}の流れ^{なが}を考^{かんが}えた換^{かんき}気^{しよくじちゅう}・食事中^{しよくじちゅう}の

会話^{かいわ}を控^{ひか}える等^{とう}

- ・ 法人内^{ほうじんない}でのコロナウイルス^{かんせん}感染^{かんせん}

⇒今年度^{こんねんど}は社員^{しゃいん}、職員^{しよくいん}及び^{およ}そのご家族^{かぞく}がコロナ^{かんせん}感染^{かんせん}してしまった^{かんせん}ケース^{かんせん}があり、

状況に応じて、療養対応を職員の連携で行うことができました

3 生活習慣病予防等に関する相談

- 肥満・高血圧等、生活習慣病予防に関する取り組みを行う。
- 肥満対策について(運動面・食事面サポート、関係機関連携)
- 看護師による心身(ストレスなど)共に健康に関する相談
- 井泉先生(嘱託医) 星野先生(嘱託医)による健康相談 カウンセリング

⇒カウンセリングは継続的に実施 社員、入居者、職員、ご家族など多岐にわたって

星野先生のアドバイスを受けました

4 健康に関する取組・各事業所との連携を図る

- 健康的な食事(昼食の献立等 栄養面を考える)
- 健康的な運動(日常の体操の習慣化)
- 在宅における健康推進の提案

⇒コロナ禍の状況で制約があるなか、可能な範囲で実施しました

2021年度 防火防災事業報告

【活動内容】

1、 防災・避難訓練の実施

◎社員・入居者・職員の自主的・主体的な行動を明確にする

○日中活動施設は年2回(各事業所ごと)

※感染予防を徹底し、図上訓練などオンラインでの訓練実施

1回目…地震時の防災避難と避難場所への経路確認 消火器使用訓練

⇒小規模少人数で実施

2回目…火災通報訓練 消火器使用訓練

⇒内容を変更した形で実施

・水災害対象地域の事業所は水害を想定した避難訓練を実施(年1回)

※感染予防を徹底し、図上訓練などオンラインでの訓練実施

⇒人数を制限した形で実施

・地域開催の防災訓練等への参加を、感染予防を徹底した上で検討する

⇒地域での防災訓練実施がなく参加できなかった

○ G H 法人合同防災避難訓練(年1回)

地震時の防災避難と避難場所への経路確認

⇒まん延防止等重点措置期間延長のため実施せず

・水災害対象地域の G H は水害を想定した避難訓練を実施(年1回)

※感染予防を徹底し、図上訓練などオンラインを活用した訓練実施

⇒新設のリーフにて水害時の避難を想定した防災用品の新規購入

⇒避難訓練を該当GHで実施

・地域開催の防災・避難訓練へ参加を、感染予防を徹底した上で検討する

⇒地域での防災訓練実施がなく参加できなかった

2. 防火・防災設備の点検及び備蓄品の管理

にっちゅうかつどうしせつ かくじぎょうしょ
・日中活動施設(各事業所)

ほうじんじしゅてんけん ねん かい かんせんよぼう てってい かんきょう へいよう じっし
法人自主点検 年2回(感染予防を徹底し、リモート環境も併用して実施)

だい しゃ かんせんよぼう かんきせん あみど しんきせつちじっし
⇒第3かたるベ社にて、感染予防のため換気扇・網戸の新規設置実施

しょうぼうしょ た い けんさ ようせい おう ずいじ
消防署の立ち入り検査 要請に応じて随時

⇒うれしの実施

しょうぼうほうていせつびてんけん ねん かい かくしよかつしょうぼうしょ ねん かい ていしゅつ
消防法定設備点検 年2回 各所轄消防署に年1回は提出する

ジャスミン ぐどうけんせつ しょうぼうせつびてんけんじっし ねん かい
ジャスミン 工藤建設による消防設備点検実施 年2回

かくじぎょうしょ ずいじじっし
⇒各事業所ごと随時実施

グループホーム かくじぎょうしょ
・G H (各事業所)

ほうじんじしゅてんけん ねん かい かんせんよぼう てってい かんきょう てんけん じっし
法人自主点検 年2回(感染予防を徹底し、リモート環境での点検を実施)

しょうぼうしょ た い けんさ ずいじ
消防署の立ち入り検査 随時

かく ずいじじっし
⇒各GHごと随時実施

しょうぼうせつびほうていけん ねん かい かくしよかつしょうぼうしょ ねん かい ていしゅつ
消防設備法定点検 年2回 各所轄消防署に年1回は提出する

かく ずいじじっし
⇒各GHごと随時実施

にっちゅうかつどうしせつ およ グループホーム
・日中活動施設及び G H

びちくひん きげん じしゅてんけんじ おこないてきせい もの じょうび
備蓄品の期限チェック自主点検時に行い適正な物を常備する

ひじょうしょく きげん き さいこうにゆう
⇒非常食の期限が切れるタイミングのため再購入した

きげん き ひじょうしょく はいき き ふ じっし
期限切れの非常食については廃棄せずフードバンクへの寄付など実施

さいがいじ じょうほうしゅうしゅう じゅうようせい さいかくにん わい ふあい
⇒災害時の情報収集の重要性を再確認しWi-Fiやバッテリーを

びちくひん ついか
備蓄品に追加した

3. その他

しんせつ じょうほう さいがいじ たいさく しょくいんよう かぞくよう こうしん
・新設GH情報など災害時の対策マニュアル(職員用・ご家族用)の更新

しゃいん にゆうきよしゃ かぞく しょくいんかん そうごりかい きんきゆうじ れんけいかくにん
・社員・入居者・ご家族・職員間の相互理解のもと、緊急時の連携確認

かくじぎょうしょ しゃいんにゆうきよしゃ きんきゆうれんらくさき かくにんじっし
⇒各事業所の社員入居者について、緊急連絡先の確認実施

じゅうしょへんこう かた ずいじこうしんじっし
住所変更のあった方については、随時更新実施

ぼうかかんりしゃ せっち しょうぼうけいかく さくせいおよ ていしゆつ
・防火管理者の設置・消防計画の作成及び提出

ひなんかくほけいかく しんすいたいさくへん ようはいりよしゃりようしせつひなんししん へんこう ともな
⇒避難確保計画(浸水対策編)要配慮者利用施設避難指針の変更に伴い

がいてうじぎょうしょ ひなんかくほけいかく しんすいたいさくへん みなお かくく ていしゆつ
該当事業所の避難確保計画(浸水対策編)の見直しと各区への提出をおこなった

⇒うれしの・第3かたるべ社について、防火管理者変更届出および

しょうぼうけいかくへんこうとどけでじっし
消防計画変更届出実施

よこはまししゆさい さいがいじ れんらくくんれんさんか けいたい しょう ずいじ
・横浜市主催の災害時連絡訓練参加(携帯メール使用)随時

⇒新しい横浜市防災情報Eメールサービスへの登録実施